

単元名: バスに乗って高校まで行こう

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	交通と旅行	言語レベル	1	必要時間数	3~5時間

I 単元目標

中国の公共交通機関の利用方法を日本のそれと比較しながら学び、中国を訪れた際に、自力で研修施設から目的地である現地の高校までバスで行くことができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交通手段やバイクの運転免許の有無を尋ね、答えることができる。 ◆ 切符を買うことができる。 ◆ 行き先を尋ねて確かめることができる。 ◆ 停留所名を確かめることができる。 ◆ 中国の高校生のメモを読むことができる。 ◆ 日中の公共交通機関の異同を、中国語で表にまとめることができる。 ◆ 地図を見せて行きたいところを指し示したり、紙に書いたりして、積極的に相手と関わることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中国の公共交通機関について知り、日中比較することができる。 ◆ 中国の路線バスの利用方法について知り、留意すべきことを理解することができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスの路線図を見ながら、どこで乗り換えたなら効率的に目的地に着けるかを考えることができる。(高度思考) ◆ 人びとの日常生活やレジャーおける、公共交通機関の役割に気づくことができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

<p style="text-align: center;">コミュニケーション能力指標</p>	<p>【交通と旅行】</p> <p>1-a. 自分の行きたい場所を、口頭でまたは書いて伝えることができる。</p> <p>1-c. 通学などで普段利用する交通機関を、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-g. 目的地と枚数を、言ったり、書いて見せたりして、切符を買うことができる。</p> <p>1-h. 身ぶり手ぶりを交えながら、席があいているかどうか尋ねたり、席を勧めて譲ったりできる。</p> <p>1-i. 車やオートバイの運転免許の有無について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-j. 乗り場や買った切符などが正しいかどうか、口頭で確かめることができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
---	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 路線図を見ながらバス停の名前を発音する。(正確な発音) ◆ 切符を買ったり、行き先を確認したりするロールプレイを行なう。(適切な表現、正確な発音、コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスに乗って自力で高校まで行く(同行する中国の高校生のメモをもとに: 行動や発話の適切さ、わかりやすさ、積極さ、コミュニケーション・ストラテジー)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆路線図を見ながら、バス停の名前が読めるように発音する。【1-a】</p> <p>◆「～まで行きたい。」「～まで…枚」など、切符を買う表現を練習する。【1-g】</p> <p>◆「ここから乗ったら～に行けるか」と尋ねる練習をする。【1-j】</p> <p>◆バスの中で席を譲る際に一言それを相手に伝えることができる。【1-h】</p> <p>◆「～に乗って学校に行きます。」など、自分のふだんの高校への通学手段やバイクの運転免許の有無について尋ね、答えるペアワークをする。【1-c,i】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況></p> <p>S高校の中国語クラスの生徒は、研修旅行で中国を訪れ、一日だけ高校の授業も体験することになった。現地の高校生が同行してくれるが、研修施設から高校までは各自で交通機関(バス)を利用し移動することにした。</p> <p><活動の流れ></p> <p>研修旅行に行く前にあらかじめバス停の名前やバスに乗る際に必要な会話表現を練習する。バスの中で高校生と話ができるようにふだんの通学手段についても言えるようにしておく。また、中国社会で公共交通機関がどの程度発達しているのか、その役割などについてグループで調べ、日中の交通機関の違い、公共交通機関に対する態度の違いなどを話しあっておく。研修施設から高校までの交通機関についてもウェブ上であらかじめ調査しておく。</p> <p>現地に行ってから、研修施設から高校までバスを利用して移動する。その際に自分が主体となって行動し、正しいかどうかを現地の高校生に確かめるようにする。自分の力で正しい行き先のバスに乗り、切符を買い、降りられたか、またバスの中での行動や発話が適切であったかなど、同行する中国の高校生にメモしてもらい、あとでメモを読んで課題達成できたか振り返る。帰国後は、中国でバスに乗った経験をみんなで話し合い、日中の公共交通機関の類似点、相違点について話し合い、簡単な中国語で書いた表にまとめる。</p> <p>ヒント☞</p> <p>◆教室内でバス停やバスの中の設定を行い、シミュレーションする。</p>	
<p><使用教材・教具></p> <p>バスの路線図</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現></p> <p>我坐地铁上学。/你每天怎么去学校？/从你家到车站要多长时间？</p> <p><表現のポイント></p> <p>“坐～”、“怎么”、“从～到～”、“～多长时间？”、“一张，到希望公园的票。”</p>	<p>公共汽车、地铁、自行车、站、票、换车、倒车、快车、慢车</p>	<p><事象></p> <p>◆バスの優先座席</p> <p>◆バスの利用方法</p> <p>◆時刻表</p> <p>◆中国の公共共通機関</p> <p><事象のポイント></p> <p>◆優先座席の表示方法などについて日本のと比較してみる。</p> <p>◆バスにどちらのドアから乗り降りするか、料金の支払い方や切符の買い方などについて知る。</p> <p>◆現地の人々の生活やレジャーにおける公共交通機関の役割、重要性について考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
中国のバスの路線図や利用方法についてのパンフレット		